

と幹部とが握手(握手)して、戦線の統一は出来るものではない。  
工場に於て、戦術的分子と戦術的分子とが握手する事  
に依つてこそ戦線の統一が出来るのである。  
此の立場に於て我々は労働者部 考案に反対する  
ものである。一ツツ

△錦木悦海(クラブ松本派)

(要言) 「クラブ反対派の意見は聴くに、吾人部分の意見  
や批評が全体を占め——であるかに生ぜようとする。さうい  
昔の「め」と象の批評の比喩を以て、反対派の部分的  
反対批評の誤謬を指摘し、さういふクラブの統一に就き  
「反対派の権限はクラブの規約が全体を規定するが如く  
鮮明せらるべきである様に思ふが、互に規約にこだはる

必要はない。我がクラブに於ける日全的戦線統一の手段

あり方(地)の之を以て中心にせらば、事なく、全無条件  
階級の切実なる戦線統一の要求に傾聴せねばならぬ。さう  
「私は想ふ、我々は我々の方針書にのみ固執するのには  
不可である。—— 然るに戦線の統一を計  
る本質的に於ては同一であるが、其の方法に於て異なるのみである。  
尤も我々自身に於て戦術的方針書に於て

松本北会局長の報告に就ては、小論議を以て、  
行調右翼戦線の統一に戦線の統一と云ふ事柄に就ては、大いに  
警告を要するが如し—— 坊間の噂にこだはる必要はない。

更に全国労働者会議準備会の解体より、南東地方労働  
組合連合会協会の採つた態度に就き、往年の戦術的  
明瞭鮮明主義を主張し、暗に統一協会の全国労働